

2023（令和五）年度 フィールドネット・ラウンジ企画公募要項 【追加募集】

2023年8月8日

Fieldnet は、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA 研）が運営している、日本国内外の諸地域を調査フィールドとする研究者のための研究情報交換ネットワークです。文系・理系を問わずさまざまな分野の研究者 600 名以上が登録しています。

Fieldnet では次世代の研究者が組織するシンポジウムやワークショップ等の企画を、「フィールドネット・ラウンジ」と称して公募します。これは、次世代の研究者が研究者間ネットワークを広げる一助となることを目的としています。先日、募集を締め切りましたが、枠に余裕がありますので、追加募集いたします。プログラムに一部未確定の部分がある企画でも、実施に向けて AA 研所員から助言を受けられる場合がありますので、ふるってご応募ください。

■応募資格

博士課程後期の大学院生、各種研究員、助教など次世代の研究者で、Fieldnet のメンバー（登録者）の方は、どなたでも企画責任者となって応募することができます。

Fieldnet に未登録の方は、登録を済ませてからご応募ください。研究者の方であれば、どなたでも無料で登録できます。詳細は Fieldnet のウェブサイトをご覧ください。
<https://fieldnet-aa.jp/>

■公募内容

シンポジウムやワークショップ等の企画 1 件（採択された企画には、30 万円を上限に開催経費を助成します）

文理の学問分野を問わずフィールドワークに関連するシンポジウムやワークショップ等の企画を公募します。若手研究者が主体となって企画したものに限りませんが、登壇者が全員若手である必要はありません。日本国内外で行ったフィールドワークにより得られた知見や、フィールドワークの手法に関する企画を歓迎します。特に、学際的な企画を期待します。

■応募企画の条件

1. 企画は 2023 年 12 月から 2024 年 2 月までに実施してください（複数日の開催も可能です）。
2. 大学・研究機関に所属する研究者をアドバイザーとして企画に加えてください（企画参加者を兼ねてもよい）。アドバイザーには、申請書・報告書の作成や、会計をはじめとした事務運営についての適切な指導と助言を期待します。
3. 企画の使用言語は、日本語または英語とします。申請書は英語でも作成できます。ただ

し、実施にあたっての事務手続きは日本語で行います。英語で申請書を作成する場合は、事務手続きを日本語で行うことができる事務担当者の氏名と連絡先 E-mail アドレスを明記してください。企画参加者もしくはアドバイザーが事務担当を兼任することも可能です。

4. 会場は AA 研、もしくは、首都圏以外に所在する企画責任者やアドバイザーの所属機関とします。なお、状況によっては Zoom を用いたオンライン会議での開催とする可能性があります (Zoom のアカウントは AA 研で準備します)。
5. 企画の実施と成果出版にあたっては、AA 研の「フィールドネット・ラウンジ」によるものである旨を明示してください。
6. 企画については一般公開とし、事前に学会メーリングリストを通じて広報するなど、幅広い多数の参加者が集まるように努めてください。なお、開催情報は Fieldnet 上でも広報されます。
7. 企画実施後、企画の狙いと成果、今後の課題や活動計画を 2000 字 (英語の場合、1000 語) 以上で記した報告書を所定の書式に則って作成し、フィールドネット事務局に提出していただきます。報告書は後日 Fieldnet 上に公開されます。過去の例はこちらからご覧いただけます。 <https://fieldnet-aa.jp/lounge/>

■応募方法

下記の所定事項を記入した応募申請書を E-mail で送付してください。特に書式は設けません。

■応募申請書に記載が必要な所定事項

1. 企画名
2. 企画責任者氏名・所属身分等
3. 企画責任者連絡先 (住所、電話、E-mail アドレス)
4. 企画の概要 (1200 字以内、英語の場合は 600 語以内)
※プログラムには一部未確定の部分があっても構いません。未確定の部分に関して、AA 研所員から助言等を希望する場合は、その旨を明記し、助言を求める内容をできるだけ具体的に記してください。
5. 全体的な構成と時間配分がわかる暫定的なプログラム
6. 開催予定日時・場所 (複数日の開催も可能です)
7. Fieldnet による支援を希望する経費の費目別内訳と概算額 (企画 1 件あたりの上限は 30 万円。ただし、以下の【旅費】に記載のとおり、AA 研以外で開催する場合には Fieldnet 担当 AA 研所員 1 名分の旅費を上限 30 万円の経費に含めてください)
 - ・ 支援可能な経費の費目は、旅費、ウェブ広報用ポスター制作費、会場費 (AA 研以外での開催時に必要な場合)、研究者ではない登壇者への謝金です。飲食費は支援できません

るので、経費には含めないでください。

【旅費】往復の交通費と日当・宿泊料が含まれます。交通費と日当・宿泊料は、東京外国語大学の規定の範囲内で支給しますが、応募申請時には企画責任者あるいはアドバイザーの所属する機関の基準に則って積算し、その金額を旅費支給対象者それぞれの発着地とともに申請書に記してください。また、AA 研以外を会場として開催する場合は、参加する Fieldnet 担当 AA 研所員 1 名分の旅費を必ず含めてください。

【ウェブ広報用ポスター制作費】希望者に対し、ウェブ上での広報に用いるポスター・チラシの電子ファイルの作製に関わる費用を助成します。なお、紙のポスター・チラシでの広報に伴い発生する追加の費用（印刷代、郵送代等）は助成の対象にはなりませんのでご注意ください。

【謝金】本企画は研究者間のネットワーク構築を目的としているので、研究者の方への謝金は助成できません。ただし、研究者以外の方に登壇を依頼する場合に限り、その方への謝金を助成の対象に含めることができます。金額は東京外国語大学の規定に依拠しますが、応募申請時には企画責任者あるいはアドバイザーの所属する機関の規定に依拠した金額を記してください。

8. 企画参加者とそれぞれの役割を示す一覧（Fieldnet のメンバーに○印をつけてください。アドバイザーについては、連絡先 E-mail アドレスも併記してください。英語で応募申請する場合は、事務手続きを日本語で行うことをできる事務担当者の氏名と連絡先 E-mail アドレスを明記してください。）
9. 共催・後援・協賛等となる AA 研以外の組織があれば、その名前と負担内容
10. 企画の実施によって期待される効果（400 字程度、英語の場合は 200 語程度）

■申し込み先

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 フィールドサイエンス研究企画センター
内フィールドネット事務局

E-mail: fieldnet@tufs.ac.jp

■締め切り

2023 年 9 月 29 日（金）必着

■結果通知

応募書類の厳正な審査の上、企画責任者に採否を連絡します（10 月中旬を予定）。採択の場合、必要な事務連絡はあらためてフィールドネット事務局から行います。なお、採否についての問い合わせは受けつけません。

■注意事項

1. 経費については以下の点にご留意ください。
 - ・ 旅費については、採択決定後、詳細をフィールドネット事務局とご相談いただきます。
 - ・ 支払いは、所定の手続を早めに行っていただいた場合でも、実施日の直前となります。宿泊施設・会場の予約等に際して前払い金が必要な場合は、アドバイザーに立替払いを頼んでください。
2. 会計支出のための書類の作成にあたっては、フィールドネット事務局の指示にしたがってください。なお、同事務局への会計支出のための書類の提出がおくれた場合、企画を実施できないことがあります。また、応募時とくらべて企画の内容が著しく変更されていたり、経費が著しく増額されていたりするような場合には、採択後でも採用を取り消すことがあります。
3. 公募の公平性を保つため、AA 研の教員をアドバイザーにすることはできません。
4. 企画実施後に提出された報告は、Fieldnet のウェブサイトにおいて公開されます。

(参考) 過去 3 年度に実施された企画

2022 年度

- 「躍動する南アジアのポピュラー音楽文化の諸相」(企画責任者：井上春緒) 2022 年 12 月 11 日実施
- 「フィールドワークってなんだ?——異分野方法論談議(霊長類学・言語学・歴史学・人類学)」(企画責任者：谷口晴香) 2023 年 1 月 9 日実施
- 「不確実性と対話する人類学——法律・経済・芸術・宗教の現場から」(企画責任者：張詩雋) 2023 年 3 月 11 日実施

2021 年度

- 『みんな、ここを通った』——戦争・交易・巡礼から見るヒマラヤ交易路の盛衰史」(企画責任者：小松原ゆり) 2022 年 2 月 12 日実施

2020 年度

- 「環境保全活動をどう携えるか——多様化するアクターとの協働に向けて」(企画責任者：山根裕美) 2021 年 1 月 29 日実施

これらの企画の詳細については、以下のページをご覧ください。

<https://fieldnet-aa.jp/lounge/>